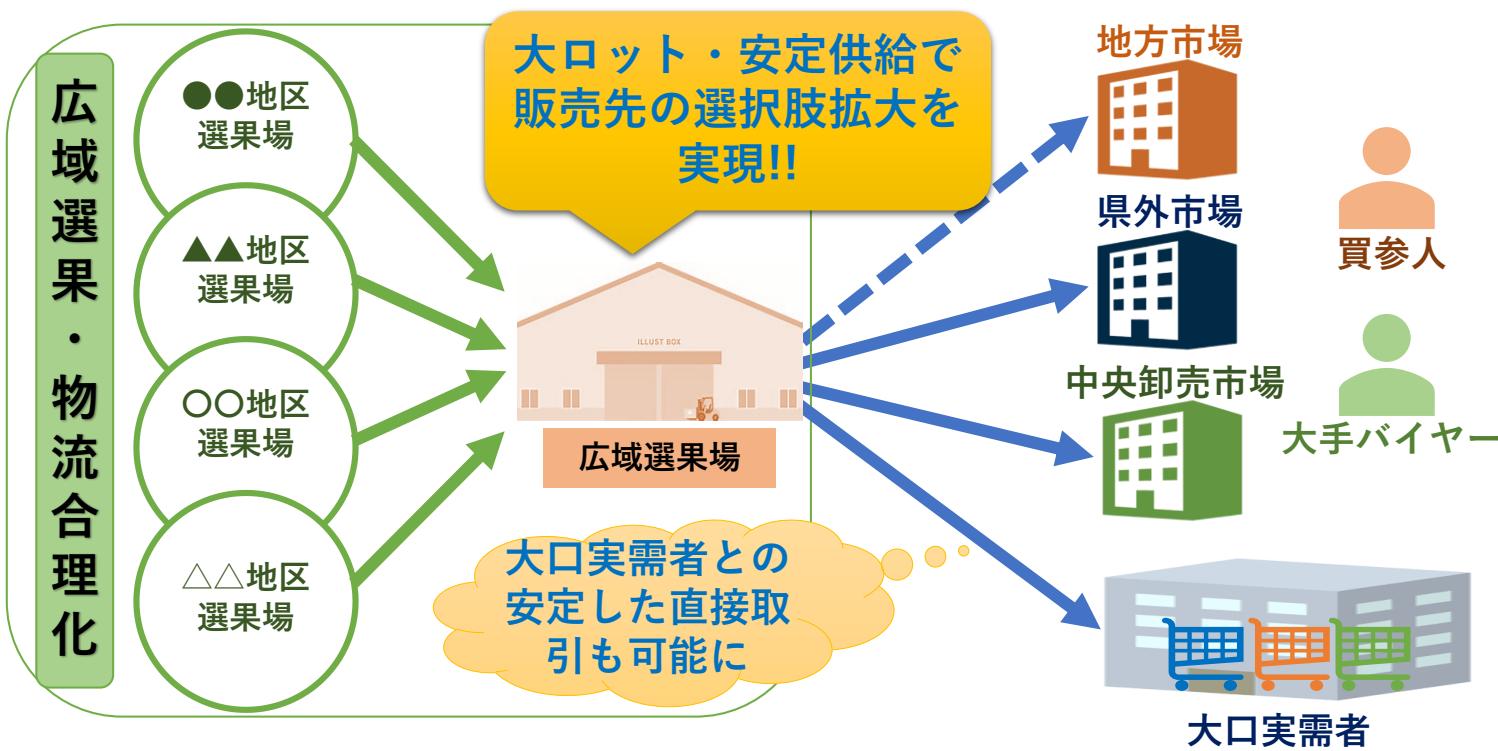


県1JA構想について ～こんなJAを目指しています～



Vol. 3 より高単価な農畜産物販売に向けて

第3号となる今回は、組合員の皆さまの農業経営・農業所得の向上に直結する販売事業はどうなるのか。県1JA構想で検討をすすめている農畜産物販売の検討方向をご紹介します。



【県域販売の構築イメージ】

既存の産地ブランドは維持しつつ、県1JAのロゴを付した農畜産物の販売を展開し、よ

2. 新たなブランドの創造

また、施設の集約により、選果費用や物流コストを削減し、農業所得の増大に貢献することを目指します。

各JAの農産物を広域選果場に集約してロット規模を確保し、一元販売すること、市場競争力を高め、有利な販売体制を構築することを目指します。

1. 広域選果体制の構築

販売事業の取り組み

維持し、県1JAが実現した後、組合員の理解を得ながら「公平性」の観点から検討をすすめることとしています。また、「直売所」を起点とした県産県消の拡大を通じて、本県の伝統食文化の保全や食育啓発に貢献するため、更なる安定供給体制を確立します。

県下広域での原料調達や施設間の連携により、これまで以上に地域の特性を活かした加工販売を展開するとともに、地元農業高校や加工事業者などとの連携・関係強化を進め、新たな特産品づくりに取り組みます。

4. 加工機能の強化と新たな加工品の創出

さらに、消費者動向等を分析し、生産指導や販売提案に繋げ、新たな出荷者の掘り起こしに取り組み、県産県消の拡大を図ります。

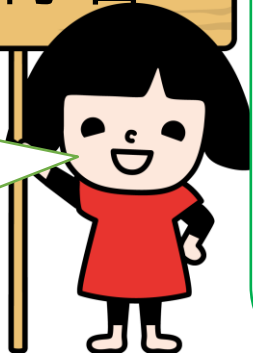
農家と消費者を結ぶ「農産物直売所」は、県下直売所間の県域・全国域での連携強化等により、実需者・消費者ニーズに対応した品揃えの充実を図ります。また、情報発信力や、ふれあい（体験・イベント）の場としての役割をこれまでに以上に発揮し、新たなJAファンづくりに取り組みます。

3. 直売所を起点とした地域農業振興

り効果的なブランド戦略の構築を目指します。また、県域集荷によるロットの拡大や栽培技術の向上によって実現する「量」と「質」により、「新たな愛媛県産ブランド」の創出に取り組みます。

次回予告

今回は資材価格低減の検討方向について解説するよ！



県1JAにかかるご意見・ご要望はこちらまで!!

来年(R6年)12月に開催予定のJA愛媛県大会に向けて、県1JA構想を検討しています。よりよい構想づくりをすすめるため、組合員の皆さまからの県1JA構想にかかる率直なご意見・ご要望をお聞かせください。

